

生徒会活動「制服から考える」



様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する
(中学校学習指導要領：特別活動の目標)

https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf

選ぶ？ 創る？

- 1.生徒会活動で制服をとりあげたことがありましたか？
- 2.着用する側が制服を選ぶ基準はなんですか？
- 3.学校の制服はなぜあるのでしょうか？

制服に目を向けてみませんか

1.制服の歴史

2.制服への意識

活用資料 「デジタル港区教育史」

<https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/>

3.校則の見直し

「NHK #学校教育を考える」

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/012/index0002.html>

1. 制服の歴史

いつの時代だろう？



「港区教育アーカイブ」より
https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/spread/sub/01_kodomo/subpage1_2.html

西洋前掛

「西洋前掛」は、明治30年（1897）ごろから大流行した子ども用エプロンのことです。この時代、普段着は洋服よりも和服がメインでした。そのため、西洋前掛という名称ですが、洋服ではなく和服の上に着用していました。

西洋前掛は、最初は衣服の汚れ防止のために使われていましたが、徐々に装飾性を帯びていきます。明治38年（1905）に刊行された『婦人とこども』には、多くのフリルが付けられた西洋前掛が、直線的な裁断と簡単な裁縫でできることが記されています。

さらに大正時代に入ると、デザインに変化が生まれます。やがて、レースやタックの装飾が減り、シンプルなものになっていきました。

西洋前掛の流行は、大正10年（1921）ごろまで続きました。雑誌の表紙や挿絵にも描かれるほどの人気で、西洋前掛を付けている当時の記念写真も数多く残っています。

「港区教育アーカイブ」より

https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/spread/sub/01_kodomo/subpage1_2.html

この服装は何だろう



「港区教育アーカイブ」

https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/spread/sub/01_kodomo/subpage1_2.html

剣道着みたいな運動着

学校の校庭に、袴姿の女児が大勢いる写真があります。袴姿で運動をしていたのは、いつごろなのでしょう。

明治15年（1882）に刊行された書籍には、女児が着流し姿（帯のみで、袴や羽織のない和装）で、舞踊教育を受ける絵画が載っています。このころは、女性が活発に運動する必要性が認められていませんでした。明治20年代になると、着流しと袴の両方の女児が混在します。靴を履いている子も数名見られます。そして、明治32年（1899）の高等女学校令発布以後に服装改良の機運が高まり、袴・靴というスタイルが定着しました。

袴は、幅広の帯で体を締め付けることはありません。着物の裾の乱れを気にせず足を動かさず。着流しよりも、かなり活動的な服装になりました。それから今のような洋式の運動着に変わったのは、20年以上あとのことです。それまで何種類かの運動着が日本に入ってきましたが、定着には至りませんでした。日常着ている衣服の洋装化すら進んでいない当時、運動のときだけ洋服にするのは難しかったのです。しかし、大正10年代になると、関東大震災を契機に洋装化が進みました。このころからスポーツの競技性も高まりました。その中で、より活動的な衣服が求められるようになり、洋式の運動着が導入され、現在に至っています。

「港区教育アーカイブ」より

https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/spread/sub/01_kodomo/subpage1_2.html

みんなで標準服を決める時代

見る・知る・伝える～港区教育アーカイブ～> 子どもたちの学びの歴史 > 標準服・運動着

中学校の標準服はどのように決められ、変化してきたのでしょうか。なかには、生徒や保護者の意見を聞いた学校もありました。昭和47年（1972）、御成門中学校では、生徒や保護者に標準服についてのアンケートをとっています。

「標準服はあったほうがよいか」という質問に対し、男子65%、女子80%が「はい」と答えています。「どんなデザインがよいと思うか」では、男子が「現在（の標準服）」36%、「プレザー」42%、「背広」15%、「その他」7%、女子が「現在（の標準服）」9%、「プレザー」37%、「セーラー」49%、「その他」5%という結果になりました。

また、資料では、先生と保護者で検討が行われた旧朝日中学校の事例も紹介しています。同校では、平成8年度（1996年度）の1年生から新しい標準服に変わりました。「儀式でも着られるタイプのものにする」「港区内の他校とちがう色・形にする」などの問題について、何回も検討しながら標準服を決めています。平成25年（2013）には、港南中学校で女子の標準服にズボンを導入したいという新しい要望も出されました。白金の丘学園では、平成27年（2015）4月の開校に向けて標準服の検討を行いました。そもそも標準服を導入するべきかどうかという話し合いにはじまり、アンケート、書類審査、保護者へ説明会などの経緯を経て決められました。生徒や保護者の意見に耳を傾けながら、時代に合わせた標準服づくりをしていることがわかります。



「港区教育アーカイブ」より

https://adeac.jp/minato-city-kyouiku/top/spread/sub/01_kodomo/subpage1_2.html

資料を見る »

制服の歴史から何を思いますか？

Q. 標準服って何だろう？

Q. 制服とは何だろう？

Q. 資料を見てどのようなことを感じましたか？

2.制服への意識

Q. 女子のスカートをどう思いますか？

Q. 皆が心地よく学校生活を送るには？

「なんで女子はスカートってきまってるの？」

全国の高校”校則データベース”より

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0012/topic019.html>

・
高校「女子スラックス制服」採用率マップ

学校総選挙プロジェクト/PRTIMESより

<https://youthvote.tsite.jp/AboutUs/AboutUs#terms>

こんな意見も

「井手上漠さんと校則 性別で決められた制服を変える意味」

NHK#学校教育を考えるより

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0012/topic018.html>

「声を上げること」「対話すること」の大切さ

参照

【“選べる制服”について考えるキャンペーン第三弾】日本全国4割の高校が「女子のスラックス制服」を採用 “選べる制服”採用率を初調査！
トップ3は「長野県」「滋賀県」「神奈川県」
～47都道府県の教育委員会の協力のもと、各都道府県立の全日制高等学校3205校を対象に調査～

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000665.000000983.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000665.000000983.html)

3. 校則の見直し

1.制服には着用する側の決定権あるのでしょうか。

2.学校の制服に社会的意味があるとしたら何でしょうか。

3.標準服なのか制服なのか、その違いは何でしょうか。

制服から考える

Q. 制服は何のため

Q. 校則は誰のため

Q. 制服から考えるありたい未来とは